

お礼とご報告

これまで恵泉フェロシップに多大のお支えをいただき感謝申し上げます。

今年（2025年）は【阪神・淡路大震災（1995年1月17日5時46分52秒に発生した兵庫県南部地震により引き起こされた災害）、地下鉄サリン事件（1995年3月20日に日本の東京都で発生した同時多発テロ事件）】から30年が経つ。『30年』という時間の静思の時となった。想えば、日本学会の機関誌『学術の動向』（2001年1月号）に『痛哲学への道～時と方法～』を書いたものである。【勝海舟（1823-1899）の『度量』～目覚めよ！～、清水次郎長（1820-1893）の『度量』～あるべき姿いでよ！～、新渡戸稲造（1862-1933）の『国際性』～具眼の士いでよ～】。ますますその必要性が出てきていると言えよう。まさに『深くて簡明、重くて軽妙、情熱的で冷静』で、『生まれて来た以上は、生きねばならぬ』（夏目漱石：1867-1916）が、今回、鮮明に思いだされた。

私は若き日【『空海（774-835）（真言宗）、最澄（766 or 767-822）（天台宗）』は、遣唐使として留学している。空海は新約聖書、最澄は旧約聖書を日本に持ち帰った。また聖徳太子（574-622）の『17条憲法』、親鸞（1173-1262）の『歎異抄』には聖書的な言葉もありますね!』と聞いたものである。法然（1133-1212）の『浄土宗』の檀家で生まれた筆者は、青春時代、浄土宗の開祖 法然に関する本、弟子の浄土真宗の宗祖 親鸞の教えの『歎異抄』を熟読したものである。まさに、【『聖徳太子、空海、最澄、道元（1200-1253）、法然、親鸞』&『イエス（1-33）』の『懸け橋』が日本文化の原点】ではなかろうか！それが、英文で書かれた内村鑑三の『代表的日本人』（1894年）と新渡戸稲造の『武士道』（1900年）に繋がった。『筆者の人生の原点』でもある。

私の故郷は、今から約1300年前、712年に編纂された『古事記』に登場する、医療の原点を教えてくれる大国主命の出雲大社から、8キロほど、峠を越えて美しい日本海に面した小さな村が、私の生まれ育った島根県出雲市大社町鶴峠（現在、人口34名）である。隣の鷺浦地区と合わせて鶴鷺と呼

ばれている。713年に編纂が命じられたという『出雲国風土記』にも登場する歴史ある地である。

無医村であり、幼年期、熱を出しては母に背負われて、峠のトンネルを通過して、隣の村（鷺浦）の診療所に行った体験が、今でも脳裏に焼き付いている。私は、人生3歳にして医者になろうと思ったようである。思えば私の人生は、小さな村での少年時代の原風景、学生時代の読書遍歴【内村鑑三・新渡戸稲造・南原繁（1889-1974）・矢内原忠雄（1893-1961）】であった。悩める時に、いかに勇気づけ、励まされたことか。

小学校の卒業式の来賓の挨拶『少年よ、大志を抱け』（1887年札幌農学校のクラーク博士の言葉）を強烈に覚えている。私の人生の起点であると言っても過言でなからう。その後、人生の機軸となる『新渡戸稲造&内村鑑三』へと導かれ、『南原繁&矢内原忠雄』との間接的な出会いが与えられた。

私は2021年7月1日、新渡戸稲造から学んだ河井道（1877-1953）が、初代学園長である恵泉女学園の9代目理事長を拝命することになりました。河井道は、創立10周年を機に、『My Lantern』（わたしのランタン）』を著した（1939年）。私は、若き日『わたしのランタン』を拝読したものです。『わたしの歩んできた人生の道でわたしのランタンのためにろうそくをわけてくださった友人』、『よりよいゴールにむかって人生の道を勇ましく前進させる』の文章に赤線が引いてあります。

河井道は『わたしのランタン』の終わりに『ここまで、わたしは、わたしのランタンをかかげてきた。時がくると、それは別の手へとひき継がれて、さらに先へと運ばれていくであろう。わたしたちの魂の「太陽」が、この世界の面から、うれいと闇（やみ）の跡を一ひらも残さず追いはらうまで、このランタンが、芯（しん）を切りととのえられ、燃えつづけていくように、わたしはそれのみを願っている』と記述している。まさに、『種を蒔く人になりなさい』の実践である！

創立100周年記念事業が以下の通り始まりしました。ご支援賜りますようお願い申し上げます。

■ 創立100周年記念事業

恵泉女学園は1929年に創立され、2029年に100周年を迎えます。この記念すべき節目に向けて、以下の記念事業を柱として準備を進めています。

1. 新フェロシップホール（仮称）の建築
2. 『恵泉女学園百年史』の発行
3. 創立100周年記念式典及び記念行事

学園は2019年から記念事業の準備を始め、内外の状況の変化を受け止めつつ、恵泉女学園の百周年にふさわしい記念事業について検討を続けています。

昨年、新フェロシップホールの基本設計業務委託のための公募型プロポーザルを実施し、その結果、新しいフェロシップホールのイメージが完成しました。これらの事業への参加と支援をお願いするために、11月より創立100周年記念事業募金を立ち上げました。よろしければ、学園のウェブサイトをご覧ください。

<https://keisenjogakuen.jp/special/>

これまでに、主に学園同窓生の方々を中心に募金趣意書をお届けし、約2か月間で1000件以上のお申し込みと約1700万円のご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。今後さらにこの輪を広げ、4年後の100周年までに3億円のご寄付を目標として取り組んでまいります。

ご寄付の際に寄せていただくメッセージを通じて、恵泉女学園の思い出、感謝、ご要望、叱咤激励など、皆様のお気持ちを知ることができ、役員教職員一同の力と励ましになっております。皆様のお気持ちにこたえ、これからも世に求められる教育を実践する恵泉女学園であり続けられるよう努めてまいります。

恵泉フェロシップの皆様には、平素より恵泉女学園を祈りとともに支えていただき、ありがとうございます。この度の創立100周年事業におきましても、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。



100周年サイト
QRコード



2024年度活動報告 中学・高等学校



校長 本山 早苗

恵泉フェロシップ会員の皆様、日頃からのお祈りとお支えに心より感謝申し上げます。

2024年度4月は、数年前から始まった学園創立100周年事業の一環としてのフェロシップホール建替えに向けて、設計者選定のための公開プロポーザルの実施から始まりました。69もの力作揃いの設計案の中から最終選考に5案が絞られ、公開プレゼンテーションを経て採択されたのは、今年度文化功労者にも選ばれた妹島和世氏の設計案でした。妹島氏は建築業界のノーベル賞と言われるプリツカー賞の受賞後に、学園の創立記念式典でも講演いただいたことがありましたが、今回は「みんなが集まる家のようなホール」というコンセプトで、現存の校舎と調和しつつ、恵泉の教育基盤である聖書・国際・園芸を象徴する魅力的な構造物を設計してくださいました。この設計案をもとに具体的な要望を織り交ぜた基本設計が始まり、秋からはいよいよ100周年事業のための募金活動も始まりました。今後の様々な教育活動や毎朝の礼拝で皆が集う新しいホールの完成は、私達の大きな希望となっています。

今年度はコロナ禍のマスク生活も過去のものとなり、様々な行事を安心して実施できるようになりました。5月には例年屋外のアミノバイタルフィールドで行ってきたスポーツデーを、隣接する武蔵野の森総合スポーツプラザの体育館で行うことができました。天候に左右されず学年対抗で思い切り汗を流す生徒達の嬉しそうな笑顔が印象的でした。

夏の国際交流プログラムでは、今年初めてカナダのキリスト教学校 Unity Christian School での短期留学プログラムが始まりました。24名の生徒達が、バンクーバーから2時間ほどの街 Chilliwack 近郊の家庭にステイし、学校での英語レッスンをはじめ、パディと共にブルーベリー摘みや様々な活動を行い、UBC (The University of British Columbia) も訪問しまし

た。ホストファミリーと一緒に日曜礼拝に参加した生徒も多く、豊かな自然と信仰、ホスピタリティや友情を体験する素晴らしい機会となりました。

夏の設備工事では、体育館の大体育室の照明をLEDに交換しました。残る小体育室とカフェテリアの交換は来年度を予定しています。また、あらゆる業務の中核を担う学内PCの更新を行い、職員会議のペーパーレス化だけでなく、校内の情報共有も益々デジタル化が促進されています。さらにC棟屋上の太陽光発電パネルとその周辺機器も更新し、大規模地震発生時の停電に備えて蓄電システムも整えることができました。

今年度DXハイスクールに採択されたことを機に、メディアセンター内の改装を実施し、情報機器設備を拡充することで生徒達の発信力をさらに強化し、世界と繋がる学びの実現に弾みをつけていきます。

高大連携の取り組みも着実に進み、順天堂大学や東京女子大学に加えて、津田塾大学、日本女子大学との連携協定も締結しました。この連携を通じて、大学での科目等履修制度に参加する生徒も出てきました。この他にも、3月のサイエンスデーに東京理科大学との連携で実施を重ねるワークショップや、芝浦工業大学での夏のインターンシップ等を通して、理系の学びを志す生徒も増加しています。

導入後3年目となる自習室主催の講座もバラエティ豊かになり、宇宙物理の講義とSF創作、リーダーシップ研修、ドローン操作と映像撮影、ハンゲル講座やメンターとの進路相談など、生徒達の多種多様な興味関心を後押しするプログラムも充実してきました。

このように、皆様からお寄せいただいた尊い基金によって、生徒達の自由闊達な学びの環境が整えられ、豊かな実りをいただくことができています。今後とも「神を畏れ、人を愛し、命を育む」恵泉の学びへのご支援をよろしくお願いいたします。



新フェロシップホール（仮称）の建築



カナダ Unity Christian School にて



2024年度活動報告 大学・大学院



学長 大日向 雅美

大学では入学式のない4月を迎え、2024年度は寂しさと無念の入り混じった複雑な思いを覚えつつ始まりしました。しかし学生たちが落ち着いて明るくキャンパスで過ごしている様子に励まされ、教職員一同いっそう信頼される教育活動の継続に努めております。会員の皆様にも変わらぬご支援をいただいておりますことは、大変に心強く有難いことでございます。ここに心からの感謝とともに、ご助成いただきました各プログラムについてご報告申し上げます。

まず、「生涯就業力教育」では、2024年度も学内表彰を行いました。学内外で自分たちのスキルを磨き、学内行事、地域社会に尽くした学生たちに目を留め、学長賞が1団体に、特別賞が4名と4団体に贈られました。また、今年度から4年生の秋学期必修科目の生涯就業力STEPⅧでは、学生たちが自身の恵泉生活を振り返り言語化し、熱く発表してくれました。

「障がい学生支援」では、視覚障がい学生用のテキスト等の点訳について、多摩市の点訳事業団体に継続してご対応いただいております。データ化が進む昨今ですが、点訳でしか対応できない資料も未だ多くあります。特に専門書の点訳対応は、ご苦勞も多いと伺っておりますが、学びの保証のために変わらずご協力いただけていることは、本当に感謝なことでございます。

「地域言語活動研究会」では、KEES（恵泉英語教育研究会）・恵話会（恵泉お話を語る会）・KPKA（恵泉平和紙芝居研究会）が、特にKPKA中心に地域での活動を定着させています。多摩市内の小中学校での授業、コミュニティーセンター、駅前のこどもひろばでの実演のほか、多摩市教育委員会主催の教員研修会にも参加し、現職の先生方と相互に充実した学び合いの時間を経験いたしました。

「国際交流・英語教育プログラム」では、協定留学派遣を英国・アイルランド・韓国へ。語学研修は、夏休みにオーストラリア・フィリピン・韓国、春休みに

英国・韓国で実施いたしました。フィールドスタディは、長期タイが8月から12月の4か月にわたって行われ、短期は夏休みにインドネシア、春休みは東アジア（韓国）とカリフォルニアと、すべてのプログラムを無事に終えることができました。

なお、8月には、中国・韓国・イスラエルから30名超の留学生たちをキャンパスに迎え「恵泉サマープログラム」が行われました。日本語教師である卒業生による日本語授業、在学生ボランティアとも交流する文化体験プログラムは今回も好評でした。

「キャンパス整備」では、施設老朽化による故障・不具合が相次ぎました。学生・教職員・来学者の皆様の安全確保を第一優先として、施設・設備の修繕、機器整備を進めさせていただいております。

保証人の皆様からは、教育プログラムの確かな遂行のご要望は当然のこと、同時に大学らしい各種行事も実施してほしいとお声も届いております。2025年度の在学生は約250名となり、全体行事のみならず学食や購買などのサービス維持も課題となっておりますが、学生たちの意見や要望も丁寧に聞き取りながら一つひとつ対応してまいります。卒業生・学園関係者の皆様はじめ、フェロシップ会員の皆様のお力添えもいただければ有難く存じます。引き続き在学生たちのための祈りとご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



ポスターで恵泉祭アピール（実行委員）



サマプロ集合写真



KPKA 多摩市立中央図書館・本のまち祭りにて

▶2025年度行事等のご案内

以下の行事を計画しております。

日程が近くなりましたら、学園・大学・中高・同窓会ホームページ等でご確認ください。

河井道先生墓前礼拝

日時：2025年4月10日（木）11:00～11:30

場所：東京霊園（東京都八王子市）

学園では、河井道先生墓前礼拝を毎年4月10日（10日が土曜あるいは日曜の場合は直前の金曜日）に開催しております。当日は30分程度の礼拝のみ行い解散となります。お祈りを共にされたい方はご参加ください。

学園創立96周年記念行事

記念式典 2025年11月1日（土）世田谷キャンパス

恵泉デー 2025年11月3日（月）世田谷キャンパス

恵泉祭 2025年11月9日（日）多摩キャンパス

2025年度の創立記念行事の日程は上記のとおりです。

内容の詳細については改めてご案内いたします。

恵泉女学園同窓会

2025年度総会・ホームカミングデー

同窓会総会とホームカミングデーを下記の要領で行います。

日時：2025年5月17日（土）13:00～16:00

場所：世田谷キャンパス

プログラム：

13:00 礼拝

お話 大石茉莉さん（高校32）

日本基督教団 根津教会 牧師

総会

ホームカミングデー

茶話会

16:00 閉会

*同窓生には4月中にご案内をお送りいたします。どうぞご覧ください。

大学 スプリングフォーラム

2025年5月24日（土）多摩キャンパスにて開催予定
在学生・卒業生をつなぐ企画を検討中。

- 保証人向け就職懇談会
- リユニオン in 多摩（大学および大学院2010年3月～2013年9月卒業生/修了生をご招待）

▶事務局からのお知らせ

*会費納入のお願い

会費納入のご案内は毎年秋頃、全会員様に発送しております。今年度分は、3月末日まで受付しております。今後とも継続してお支えくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、お知り合いの方などにも本会へのご加入をお勧めいただきたく、併せてお願い申し上げます。

手続書類等が必要な場合には、下記恵泉フェロシップ事務局までご連絡ください。

*会費・寄付金の預金口座自動振替制度

恵泉フェロシップ会費・寄付金のご納入については「預金口座自動振替制度」を導入しています。自動振替の時期は7月及び12月です。7月の振替を希望される場合は5月末日（必着）までに、12月の場合は10月末日（必着）までにお申し込みください。

会費・寄付金のお振込み先は下記のとおりです。

名義	学校法人 恵泉女学園
ゆうちょ銀行	00160-4-20588
三菱UFJ銀行世田谷支店	(普) 0881964
三井住友銀行経堂支店	(普) 5237180

※事前にご相談ください。（領収書発行のため）

*クレジットカード決済制度

学園HPからクレジットカードを利用して、恵泉フェロシップ会費・寄付金をご納入いただけます。

詳しくは、学園HP内の後援会組織「恵泉フェロシップ」をご覧ください。

<https://keisenjogakuen.jp/donation/fellowship/>



*寄付金の遺贈制度

学校法人への遺贈については、金銭又はその他の財産であることを問わず、相続税の計算から除外されることになっています。学園では三菱UFJ信託銀行と遺言信託に関する協定を結んでおります。これらに関するご相談は、事務局あてにご連絡ください。

*税制上の優遇措置制度

恵泉フェロシップへのご寄付は、学校法人に対する寄付金として税制上の優遇措置を受けることができます。具体例などを学園HP内に掲載しておりますので、ご覧ください。

恵泉フェロシップ会報 第44号

発行日 2025年3月1日

発行 学校法人恵泉女学園

編集 恵泉フェロシップ事務局

156-8520 東京都世田谷区船橋5-8-1

Tel:03-3303-2111 Fax:03-3303-2323